



イーストユニオン第5回定期大会 全ての目的達成は組織拡大が道筋

中央本部は、第5回定期大会を7月10日（月）都内田町交通ビルに於いて大会構成員、来賓、傍聴を含め全体で55名の参加の下、この1年の総括と向こう1年の運動方針を満場一致で確認した。大会議長は、渡辺代議員（新潟）がスムーズな議事進行をはたした。



菅野 中央執行委員長



- ・九州豪雨の被害を受けた方々にご冥福とお見舞いを申し上げます。
- ・国鉄崩壊の一端に政治の介入があった。スト権を掲げる第一組合が当たり前前の労使関係を築けない。
- ・安全問題、技術継承、組織拡大、イーストイノベーションの定着で働き方大改革の推進、この一年が勝負の年。

かわい 参議院議員



- ・健全な民主主義が大切。
- ・民主的労働運動は、左翼と一緒に成れない。
- ・JR連合とイーストユニオンは、戦闘的に民主的労働運動を守ってきた組合だ。



・JR30年とJR連合25年を迎えた、5年のタイムラグがJR総連とJR連合の民主的な組織運営の差である。

・JR連合の旗を東日本で守り拡大できるのはイーストユニオンだけだ、JR連合も一緒に闘って行く。

・民主的な組合は反自民非共産である。民進党には、もっと頑張ってもらいたい。

・ネットで100年後に残る企業があった。1位はトヨタ、3位はJR東日本、7位にJR東海、100位以内にJALやJR西日本があった。しかし、東芝の例もある、大事故は起こしてはならない。

質疑応答のキー・ワード

10名の代議員から多岐にわたる発言

- ・安全 ・技術継承 ・組織拡大 ・民主化闘争
- ・九州豪雨の支援 ・アウトソーシング ・効率化
- ・エルダーの本体雇用 ・働き方改革 ・賃上げは月例賃金の底上げを
- ・協力会社の労働条件向上
- ・JR連合正式加盟 ・菅野委員長がJR連合副会長



国井 事務局長 総括答弁

・会社はスピードを訴えている。イーストはスピードと労使の信頼が大切。

・会社の発展と同じく働く仲間の安心感や幸せ感をマッチさせるのが組合の存在感。

・JR連合の旗を守り拡大させるのはイーストユニオンだけである。まずは、組織拡大を全体で達成しよう。

<スローガン>

民主的労働運動を次代に引き継ぐため、

ビッグイノベーションを巻き起こし全力をもって組織拡大に邁進しよう

